

日韓の境界を越えて

～帝国日本への対し方～

「帝国日本」の崩壊は、帝国のひずみの解消とはならなかった。「帝国日本」が生み出した負の遺産は、「帝国崩壊」後にさらなるあとくされを残したのである。いまこそ「帝国日本」の責任継承者としての日本国、「帝国日本」によって植民地化された過去を持つ大韓民国は、この過去に対して、どう向きあっていくべきなのか。

『帝国日本の闕』（岩波書店）の金杭さん、昨年『帝国の慰安婦』（朝日新聞出版）を刊行された朴裕河さんを迎えて、これからの知的協働の可能性について考える。

第1回 帝国日本の擬人法

日時：2015年2月12日（木）15:00-17:30

会場：立命館大学 衣笠キャンパス 末川記念会館第3会議室

司会 西成彦（立命館大学）

パネリスト 金杭（延世大学校） 沈熙燦（立命館大学専門研究員）
原佑介（日本学術振興会特別研究員）

第2回 「帝国の慰安婦」という問いの射程

日時：2015年2月22日（日）14:30-18:30

会場：立命館大学 衣笠キャンパス 以学館1号ホール

司会 西成彦（立命館大学）

パネリスト 朴裕河（世宗大学校） 平井和子（一橋大学）
森岡正博（大阪府立大学） 上野千鶴子（立命館大学）

入場
無料

事前
申込
不要

お問い合わせ：立命館大学国際言語文化研究所 E-mail: genbun@st.ritsumeit.ac.jp

立命館大学衣笠キャンパス アクセス：http://www.ritsumeit.jp/accessmap/accessmap_kinugasa_j.html

主催：「比較植民地文学研究の基盤整備」（研究代表者：西成彦）

（日本学術振興会 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）基盤研究（C）課題番号：24520411）

※本ワークショップはJSPS科研費課題番号：24520411の助成を受けたものです。

共催：立命館大学国際言語文化研究所